

2024年度 山梨県教育研究所の事業について

校内研究会等の講師招聘を支援します

1 研究支援プロジェクト事業 (校内研究会に対する補助事業です)

「授業をひらき 校内研究会をひらき 学校を基盤に立ち上がる授業研究会」をめざし、山梨県教育研究所では、「研究支援プロジェクト事業」を実施しています。

この事業は、各地区の教育協議会と連携し、各学校の校内研究活動を支援していくものです。昨年度は13校の校内研究会において、大学研究者等を招き、他校の先生方も参加しながら、有意義な研究がなされたとの報告を受けています。本年度も各学校の校内研究会の活性化に向けて、積極的に支援していきたいと考えています。

校内研究会で大学の研究者や現場の実践者等を招いて学びたい。

「教科」や「総合的な学習」の授業研究会、「子ども理解」「共同の学び」「集団づくり」など、今日的な課題や教育現場のニーズに沿って、大学研究者や学校現場の実践者等と連携し、校内研究会を支援します。

◇これまでに協力していただいた先生方(2018~2023年度 敬称略)

岩永正史(山梨大学:国語科教育)	松下浩之(山梨大学:特別支援教育)
田中博之(早稲田大学:学級づくり)	日永龍彦(山梨大学:学校評価 CS)
清水宏幸(山梨大学:算数数学教育)	堀 哲夫(山梨大学:授業評価 OPPA)
高橋英児(山梨大学:自治活動)	吉井勘人(山梨大学:特別支援教育)
深沢和彦(東京福祉大学:Q-U 廻ぐり)	品田笑子(都留文科大学:Q-U 学級経営)
鶴田清司(都留文科大学:国語教育)	多田孝志(金沢学院大学:教育学 国際理解)
岩田一正(成城大学:教育学)	菊池省三(菊池塾:授業・学級づくり)
田中一弘(山梨大学:道徳)	大橋良枝(聖学院大学:児童心理 養育相談)
早川裕隆(上越教育大学:道徳)	杉中康平(四天王寺大学:道徳)
熊谷圭二郎(保健福祉大学:臨床心理)	三宅良輔(日本体育大学:体づくり運動)
北 俊夫(総合初等教育研究所:教員課程)	三井一希(山梨大学:ICT教育)
渡邊幸之助(武蔵野大学:学級づくり)	古屋和久(都留文科大学:学級づくり)

※上記の講師も含め、他の講師の選定及び手配については、自校にてお願いします。

校内研究会の公開について

研究支援プロジェクトは、校内研究会を支援すると同時に、「開かれた校内研究会」として、研究者等の知見を近隣の学校にも広げ、校内研究会等を活性化するために実施しています。事業の実施校が窓口となり、近隣の小中学校へ研究会実施の案内を送り希望者を募って、他校の教職員も加わる研究会として取り組んでいただきたいと思えます。講師謝金(交通費を含む)について本研究所が、20,000円を補助します。

なお、本年度も15校を対象とします。多くの学校へ支援を広げたいと思えますので、これまで申込みがなかった学校も積極的に活用していただきたいと思えます。申込みがこの数に達した時点で締め切りとします。別添付の「2024年度研究支援プロジェクト申込書」にご記入いただき、メールにて山梨県教育研究所へ御連絡ください。



申込みがこの数に達した時点で締め切りとします。別添付の「2024年度研究支援プロジェクト申込書」にご記入いただき、メールにて山梨県教育研究所へ御連絡ください。

(申込み締切は、4月30日です。)

問合先 山梨県教育研究所

今日的な教育問題やカリキュラム・授業について研究します

2 今日的な教育課題について継続研究します

山梨県教育研究所では、「カリキュラム・授業研究会」組織し、研究委員は学校現場の先生方を中心に各構成団体から選出されています。本年度は新しいテーマを設け研究に取り組んでいきます。昨年度の研究は次のとおりです。

◎教育問題研究会の研究テーマ

「一人ひとりに、ゆたかで行き届いた教育を
～多種多様な側面から子ども人権を考える～」

◎カリキュラム・授業研究会の研究テーマ

「一人ひとりがゆたかに学べる授業づくりを目指して
～子どもの深い学びを実現するための授業をどう創るか～」

学校現場の視点を大切にしながら、有意義な提言ができるよう研究していきたいと思えます。

「夏休みの友第77号」多くの学校での採用をお願いします

3 『夏・冬休みの友』の内容が充実するよう取り組みます。

『夏・冬休みの友』は、「基礎的基本的な学力」を身に付けるだけでなく、「長期休業中に、子どもたちが自主的な学び」に取り組むとともに、「全人格の育成」を目的として編集されています。また「地域の子どもは地域で育てる」という考えのもと、山梨の歴史や文化・誇れる郷土等に関する内容もあります。子どもたちが豊かで楽しい夏・冬休みが過ごせるようなガイドブック的な役割をもった冊子となっています。「夏休みの友」は、1948年に第1号が創刊され、本年度で第77号を迎えることとなります。今の子どもたちの祖父母の代から多くの県民の皆様が親しまれ、活用されてきた「夏・冬休みの友」は、いまや山梨の貴重な教育の歴史であるともいえます。また、山梨県連合教育会主催の「図工・美術作品展」や「書きぞめ大会」、「夏休みの友紹介図書感想文コンクール」等の指導に関わるテキストとしても「夏・冬休みの友」が活用されています。友の収益は、各種大会・作品展の費用に使われています。連合教育会の活動を支えるものとして多くの学校で友を採用していただきたいと思えます。編集委員の先生方は、「より良い友」になるように一生懸命取り組んでいます。



その他の事業

ホームページ (URL <https://www.y-kyoken.com>)

4 『所報 創る』の発行、公開研究会、各種調査、教育課程到達度検査や機関誌『山梨教育』の委託事務等を行っています。

山梨県教育研究所は、1995年に設立されました。輝かしい未来を力強く建設していく子どもたちの育成を願い、参加構成団体の会員がそれぞれの立場から学習・調査・研究・提言をし合い、山梨県の教育および教育諸制度の充実と発展を目指すことを目的としています。これからも先生方の温かい御理解と御協力をお願いいたします。

2024年度 所員
所長 小笠原 哲
研究員 樋口 玲子
研究員 渡邊 聡

・・・山梨県教育研究所・・・
〒400-0031 甲府市丸の内 3-33-7
山梨県教育会館 4階 (相生交差点北西角)
電話 055-222-1546 FAX 055-222-1558
kenkyujo@y-kyoken.com